

- 2面 保育園・子ども園の産休・育休明け入所予約
- 4・5面 高齢者福祉サービスのご利用を
- 8面 特別区民税・都民税 税額決定・納税通知書をお送りします
- 8面 介護保険サービス利用料の負担軽減・助成制度

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード



しんじゅくコール

☎(3209)9999 FAX(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

記念館のイメージ

漱石に関する本を読みながら
ゆったりと過ごせる図書室や
カフェを設置

常設展のほか企画展や
講座・イベントを開催し
漱石文学の世界を紹介

記念館内に書斎・客間・
ベランダ式回廊など「漱石
山房」の一部を再現



漱石山房の再現展示イメージの一例

漱石が晩年の9年間を過ごし、「漱石山房」と呼ばれた早稲田南町の旧居跡に、記念館を整備します。
国民的文豪で、近代日本を代表する知識人でもある漱石を多様に発信するとともに、誰でも気軽に利用でき、地域にも開かれた記念館として、漱石山房の「土地の記憶」を未来に継承していきます。

漱石を発信する活気ある記念館に

新宿区は、明治の文豪・夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまち。

区では、漱石生誕150周年の平成29年(2017年)2月の開館を目指して、(仮称)「漱石山房」記念館の整備を進めています。7月1日(月)から募集する「夏目漱石記念施設整備基金」や関連イベントへの参加を通して、初の本格的な漱石記念館を一緒に作りましょう。
【問合せ】文化観光課文化資源係(本庁舎1階) ☎(5273)3563・FAX(3209)1500へ。

2017年2月

夏目漱石生誕150周年に向けて

ともに創ろう

(仮称)「漱石山房」記念館



夏目漱石記念施設 整備基金にご協力を

7月1日から
寄付を募集します

区民の皆さんをはじめ、多くの方に参画していただきながら(仮称)「漱石山房」記念館の整備を進めるため、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、7月1日(月)から寄付の募集を開始します。
皆さんからの寄付は、記念館の建設と資料の購入に活用します。ご支援ご協力をお願いします。
寄付の手続き方法等詳しくは、「広報しんじゅく」7月5日号でお知らせします。また、パンフレットと払込用紙を、7月1日(月)から文化観光課(本庁舎1階)・特別出張所・区立図書館等で配布します。
▼寄付は、所得税の控除や「ふるさと納税」制度を活用した住民税の控除の対象になります。
▼10万円以上の寄付をいただいた方は、館内に設置する銘板に氏名・団体名等を記載します。

夏目漱石と新宿区

漱石は慶応3年(1867年)2月に牛込馬場下横町(現在の喜久井町)で生まれ、大正5年(1916年)12月に早稲田南町で亡くなっています。区内には、数多くの漱石ゆかりの地があります。

江戸時代、牛込周辺の11か町を治める名主だった夏目家。江戸が東京になったころ、漱石の父親・直克が、夏目家の家紋「井桁に菊」にちなんで名付けた町名が「喜久井町」です。自宅前の坂は「夏目坂」と命名され、今でもその名が残っています。

また、漱石の作品には、新宿での生活や体験が刻み込まれています。「それから」の神楽坂、「彼岸過迄」の矢来町など、新宿の景色やゆかりの人物が頻りに登場します。

漱石山房とは

漱石は、晩年の9年間を「漱石山房」と呼ばれた早稲田南町の家で暮らしました。この家は和洋折衷の平屋建てで、庭の大きな芭蕉の木や、洋風のベランダが特徴的でした。早稲田南町に転居したころから文筆業に専念し始めた漱石は、この地で「三四郎」「こゝろ」「道草」など数々の代表作を執筆しました。

客間では週1回木曜日に、「木曜会」と呼ばれる文学サロンが開催され、漱石を慕う若い文学者たちの集いの場にもなっていました。

建物は昭和20年(1945年)の空襲で焼失しましたが、敷地の一部は区立漱石公園として整備され、現在は漱石山房のベランダ式回廊の一部を再現しています。



公園入口の漱石胸像(富永直樹作)

2017年 夏目漱石生誕150周年に向けて 新宿区夏目漱石記念施設整備プロジェクトVol.1

講演会とシンポジウム

夏目漱石と「現代を生きる」 ともに創ろう (仮称)「漱石山房」記念館

【日時】7月14日(日) 午後2時開演 (午後1時30分開場)

【会場】早稲田大学大隈記念講堂大講堂 (西早稲田1-6-1)



姜尚中(カン・サンジュン)

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター・荒井英治さんの演奏もあります

講演「漱石と現代」

【出演】姜尚中 (政治学者・聖学院大学全学教授)

シンポジウム

「ともに創ろう (仮称)「漱石山房」記念館」

【出演】半藤一利 (作家)
半藤末利子 (エッセイスト・漱石の孫)
姜尚中
中島国彦 (早稲田大学文学学術院教授)
牧村健一郎 (朝日新聞記者)
中山弘子 (新宿区長)

【共催】早稲田大学 【後援】朝日新聞社

【申込み】はがきかファックス(記載例(3面参照)のほか希望人数(5名まで)を記入)で、6月24日(必着)までに文化観光課文化資源係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階) ☎(3209)1500へ。定員1,100名。応募者多数の場合は抽選。